

抗 悪 性 腫 瘍 剤 治 療 プ ロ ト コ ー ル ― 覧

津田沼中央総合病院

2023.8.20更新

適応疾患 療法名	薬剤 1日投与量・方法	投与時間	投与日	投与ルート	投与間隔、総コース	主な副作用	適応
肺癌	ゲフィチニブ単剤 Gefitinib 250mg/body/日 ※1日1回250mg経口		連日	経口	毒性が許容され、抗腫瘍効果があるがぎり連日投与	間質性肺炎(まれ) 骨髄抑制、下痢、悪心・嘔吐、倦怠感、皮膚障害、肝障害、眼障害	1: EGFR遺伝子変異陽性の手術不能非小細胞肺癌 ※PS: 0～2ではgefitinibまたは細胞毒性抗癌剤(グレードPS: 3～4ではgefitinib(グレードB)推奨 2: 再発非小細胞肺癌
	エルロチニブ単剤 Erlotinib 150mg/body/日 ※1日1回150mg経口		連日	経口	病状進行まで連日経口投与	間質性肺炎(まれ) 骨髄抑制、下痢、悪心・嘔吐、倦怠感、皮膚障害、肝障害、眼障害	1: 手術不能な再発進行性で、化学療法施行後に増悪した非小細胞肺癌
	UFT療法 UFT 250mg/m ² 分2～3		連日	経口		骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、下痢、口内炎、色素沈着、間質性肺炎、肝障害	1. 非小細胞肺癌(術後補助化学療法)
	UFT療法 UFT 250mg/m ² 分2～3 ※用量は四捨五入で100mg毎に増減可能性あり		連日	経口	2年以上 連日経口投与	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、下痢、口内炎、色素沈着、間質性肺炎、肝障害	1. 非小細胞肺癌(術後補助化学療法)
	CP療法 PTX 200mg/m ² カルボプラチン AUC6 ※6mg×[GER(Crで代用)+25]		DAY1 DAY1	点滴静注 DIV 点滴静注 DIV	1コース21日間 総コース: 最大6コース	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、口内炎、脱毛、関節・筋肉痛、痺れ、聴力低下、間質性肺炎、肝障害、腎障害	非小細胞肺癌
	肺ベムプロリズマブ単剤 ベムプロリズマブ 1回 200mg	30分	DAY1	点滴静注DIV	3週に1回投与 最大35コース	骨髄抑制、インフュージョンリアクション、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型糖尿病、食欲不振、神経障害(しびれ、麻痺など)、腎障害、肝不全、肝機能障害、過度の免疫反応、皮膚障害、脳炎、下垂体機能低下症、副腎障害、下痢・大腸炎	PDL1≥50%の進行転移非小細胞肺癌 化学療法+ベムプロリズマブ療法後 単剤維持療法
	肺ドセタキセル単剤 DTX60mg/m ² /日	60分	DAY1	点滴静注DIV	3週毎	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、下痢、全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、しびれ、口内炎、浮腫	PDL1<50%のPS2進行転移非小細胞肺癌 化学療法+ベムプロリズマブ療法 維持
	CDDP+VNB療法 ビノレルビン 25mg/m ² シスプラチン 80mg/m ² ※6mg×[GER(Crで代用)+25]		DAY1、8 DAY1	点滴静注 DIV 点滴静注 DIV	1コース21日間 総コース: 最大4コース	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、発疹、下痢、便秘、末梢神経障害、全身倦怠感、口内炎、聴力低下、肝・腎障害、間質性肺炎	非小細胞肺癌
	オシメルチニブ療法 オシメルチニブ 80mg/body 適宜減量 40mg/body		連日	経口	3年あるいは投与不能、再発まで	間質性肺炎、QT延長、骨髄抑制、肝機能障害、発疹、皮膚乾燥、爪障害、そう痒症、脱毛、手足症候群、口内炎、悪心・嘔吐、食欲不振、便秘、味覚異常、乾燥、頭痛、倦怠感、筋肉	非小細胞肺癌
	アフアチニブ単剤療法 アフアチニブ単剤 40mg/body 適宜増減量 20-50mg/body		連日	経口	臨床的有益性が無くなる、もしくは忍容できない副作用出現まで	間質性肺炎、骨髄抑制、肝機能障害、皮膚障害、発疹、爪囲炎、脱毛、多毛症、手足症候群、下痢、便秘、口内炎、悪心・嘔吐、食欲不振、味覚異常、感覚鈍麻、眼障害、倦怠感、筋肉関節痛、不眠症、高血圧、感染症、浮	原発性肺がん 主にEGFR uncommon mutation症例
	アテゾリズマブ アテゾリズマブ 1200mg/body	初回60分 2回目以降30分可	DAY1	点滴静注DIV	1コース21日間	骨髄抑制、インフュージョンリアクション、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型糖尿病、腎機能障害、肝機能障害、悪心嘔吐、大腸炎、下痢、便秘、全身倦怠感、脳炎、甲状腺機能障害、下垂体低下症、副腎障害、神経障害	①プラチナ製剤を含む補助化学療法後の術後病理病期ⅠB(T≥4cm)～ⅢAの非小細胞肺癌 ②プラチナ製剤を含む化学療法歴がある切除不能な進行・再発非小細胞肺癌 ③化学療法歴がないPD-L1 1%以上の切除不能な進行・再発非小細胞肺癌
	アレクテニブ単剤療法 アレクテニブ 600mg 分2/body		連日	経口	臨床的有益性が無くなる、もしくは忍容できない副作用出現まで	間質性肺炎、骨髄抑制、肝機能障害、下痢、味覚異常、頭痛、口内炎、悪心、便秘、上気道感染、発疹、爪囲炎、脱毛、筋肉痛、血中CK増加、血中CK増加、倦怠感、浮腫、脱毛	原発性肺がん ALK融合遺伝子陽性の切除不能な信仰再発の非小細胞肺癌 アレクテニブ以外のALK-TKI耐性/増悪後の症例

CDDP+ペムトレキセド療法 CDDP 75mg/㎡ ペムトレキセド 500mg/㎡ 普通処方として シアノコバラミン注1000 μg パンビタン1g	60分 10分	DAY1 DAY1 初回投与1週間前・その後、原則9週・来院時投与 初回投与1週間前より連日内服し、治療終了3週間後まで継続	点滴静注DIV 点滴静注DIV 筋肉内投与 経口	1コース21日間 総コース:4コース	骨髓抑制、間質性肺炎、下痢、脱水、腎機能障害、食欲不振、悪心・嘔吐、便秘、口内炎、肝機能障害、発疹・掻痒感、倦怠感、発熱、血糖上昇、頭痛・めまい、ほてり、張力低下、末梢神経障害、脱毛	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ※ショートハイドレーション適応ない患者はCBDCAレジメン
CBDCA+ペムトレキセド療法 CBDCA AUC6 ※6mg×[GFR(Crで代用)+25] ペムトレキセド 500mg/㎡ 普通処方として シアノコバラミン注1000 μg パンビタン1g	60分 10分	DAY1 DAY1 初回投与1週間前・その後、原則9週・来院時投与 初回投与1週間前より連日内服し、治療終了3週間後まで継続	点滴静注DIV 点滴静注DIV 筋肉内投与 経口	1コース21日間 総コース:4コース	骨髓抑制、間質性肺炎、下痢、脱水、腎機能障害、食欲不振、悪心・嘔吐、便秘、口内炎、肝機能障害、発疹・掻痒感、倦怠感、発熱、血糖上昇、頭痛・めまい、ほてり、末梢神経障害、脱毛、浮腫	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
ペムトレキセド単剤療法 ペムトレキセド 500mg/㎡ 普通処方として シアノコバラミン注000 μg パンビタン1g	10分	DAY1 初回投与1週間前・その後、原則9週・来院時投与 初回投与1週間前より連日内服し、治療終了3週間後まで継続	点滴静注DIV 筋肉内投与 経口	1コース21日間 総コース:PDまで	骨髓抑制、間質性肺炎、下痢、脱水、腎機能障害、食欲不振、悪心・嘔吐、便秘、口内炎、肝機能障害、発疹・掻痒感、倦怠感、発熱、血糖上昇、頭痛・めまい、ほてり	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ※プラチナ製剤+ペムトレキセド療法4コース終了後、ペムトレキセド単剤療法へ移行
CBDCA+nabPTX療法 CBDCA AUC6 ※6mg×[GFR(Crで代用)+25] nabPTX 100mg/㎡	60分 30分	DAY1 DAY1、8、15	点滴静注DIV 点滴静注DIV	1コース21日間 総コース:6コースまで	骨髓抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、下痢、全身倦怠感、口内炎、浮腫、脱毛、関節・筋肉痛、末梢神経障害、間質性肺炎、肝障害、腎障害、	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
肺 nabPTX単剤療法 nabPTX 100mg/㎡	30分	DAY1、8、15	点滴静注DIV	1コース21日間 総コース:PDまで	骨髓抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、しびれ、口内炎、浮腫	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
肺 S-1療法 TS-1(体表面積計算) 1.25㎡未満 40mg／ 1.25㎡－1.5㎡未満 50mg／ 1.5㎡以上 60mg／回		DAY1－28	内服	1コース42日 4週投与2週休薬 総コース:PDまで	骨髓抑制、悪心嘔吐、食欲不振、発疹、下痢、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、流涙	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
CBDCA+ETP療法 CBDCA AUC5 ※5mg×[GFR(Corで代用)+25] ETP 80mg/㎡	60分 60分	DAY1 DAY1～3	点滴静注DIV 点滴静注DIV	1コース21日間 総コース:4コースまで	骨髓抑制、ショック・アナフィラキシー、間質性肺炎、肝障害、腎障害、悪心嘔吐、食欲不振、口内炎、下痢、腹痛、便秘、脱毛、倦怠感、発熱、末梢神経障害	進展型小細胞肺癌 (PS3、75歳以上目安)
CBDCA+ETP+アテゾリズマブ療法 CBDCA AUC5 ※5mg×[GFR(Corで代用)+25] ETP 100mg/㎡ アテゾリズマブ 1200mg/body	60分 60分 初回60分 2回目以降30分可	DAY1 DAY1～3 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	1コース21日間 総コース:4コースまで	骨髓抑制、ショック・アナフィラキシー、間質性肺炎、肝障害、腎障害、悪心嘔吐、食欲不振、口内炎、下痢、腹痛、便秘、脱毛、倦怠感、発熱、末梢神経障害、インフュージョンリアクション、甲状腺機能障害、1型糖尿病、大腸炎、脳炎、甲状腺機能障害、下垂体低下症、副腎障害、神経障害	進展型小細胞肺癌 (PS0-1) 4コース終了後、増悪なければアテゾリズマブ単剤療法へ移行

	ペムブロリズマブ+(CBDCA) +PEM療法 ペムブロリズマブ 1回200mg		30分	DAY1	点滴静注DIV	1コース21日間 総コース:4コース 5コース目以降ペムブロリズマブ+PEM療法へ (ペムブロリズマブ最大35サイクル)	骨髄抑制、インフュージョンリアクシ ョン、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1 型糖尿病、食欲不振、神経障害(しび れ、麻痺など)、下痢、脱水、腎機能障 害、食欲不振、悪心・嘔吐、便秘、口 内炎、肝不全、肝機能障害、発疹・搔 痒感、倦怠感、発熱、血糖上昇、頭 痛・めまい、ほてり、末梢神経障害、脱 毛、浮腫、過度の免疫反応、皮膚障 害、脳炎、下垂体機能低下症、副腎障 害、下痢・大腸炎	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	
	CBDCA AUC5 ※5mg×[GFR(Crで代用)+25]		60分	DAY1	点滴静注DIV				
	ペメトレキセド 500mg/m ²		10分	DAY1	点滴静注DIV				
	普通処方として シアノコバラミン注1000μg			初回投与1週間前・ その後、原則9週・来院時投与 初回投与1週間前より連日内 服し、治療終了3週間後まで 継続					筋肉内投与
	パンピタン1g				経口				
	ペムブロリズマブ+CBDCA +nabPTX療法 ペムブロリズマブ 1回200mg		30分	DAY1	点滴静注DIV	1コース21日間 総コース:4コースまで 以降ペムブロリズマブ単剤療法へ (ペムブロリズマブ最大35サイクル)	骨髄抑制、インフュージョンリアクシ ョン、甲状腺機能障害、悪心・嘔吐、食 欲不振、下痢、全身倦怠感、口内炎、 浮腫、脱毛、関節・筋肉痛、末梢神経 障害、間質性肺炎、肝不全、肝機能 障害、腎障害、1型糖尿病、神経障害(し びれ、麻痺など)、過度の免疫反応、 皮膚障害、脳炎、下垂体機能低下症、 副腎障害、下痢・大腸炎	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	
	CBDCA AUC6 ※6mg×[GFR(Crで代用)+25]		60分	DAY1	点滴静注DIV				
	nabPTX 100mg/m ²		30分	DAY1、8、15	点滴静注DIV				